

にじのかけはし

令和3年8月 第2号
上海日本人学校虹橋校
片桐 里香

希望が丘小学校のみなさん、你好（ニーハオ）！みなさんは、どんな夏休みを過ごしましたか？思い出をたくさん作った夏休みだったらうれしいです。

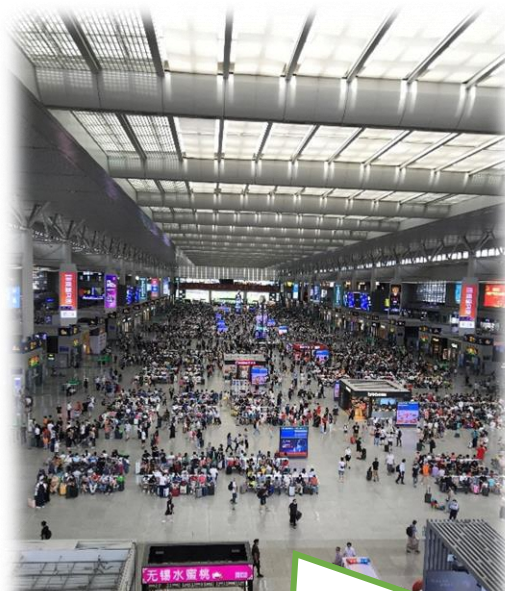
さあ、今回も上海の様子をお届けしていきます。今回は、「上海の乗り物」についてレポートします！



【人であふれる上海の街】

上海の印象をひとことで表すならば…「エネルギッシュ」！とにかく活気があります。まちそのものが元気いっぱい！そして、どこにいても人・人・人！たくさんのお店が並び、どこもたくさんの人でにぎわっています。

右の写真は、高速鉄道の上海虹橋駅の様子です。どうですか？まるで、空港のようでしょう？向こうが見えないくらい広い駅です。ここから、中国の各方面に移動することができます。飛行機と比べると、チケットの値段も安く、手続きも簡単で利用しやすい、というのが大きな特徴です。その手軽さから、中国の人たちは高速鉄道を使って移動することが多いようです。



上海虹橋駅の待合室です。とにかく広い！そして、とにかく人が多い！

真ん中の空間は大きな待合室。プラットホームは20番線まであります。手軽に食べられる食堂やカフェ（スターバックスやマクドナルド）やお土産屋さんなどの設備も整っています。

【中国の新幹線は、とても快適！】

高速鉄道（高鉄）は、日本の新幹線にとっても似ています。乗り心地もとても快適です。座席は、ビジネスシート・1等席・2等席の3種類。座席によって値段が変わります。ビジネスシートは、日本の新幹線のグランシートに当たります。1等席はグリーン席、2等席は指定席です。自由席の場合は、空いていれば2等席に座れるようです。ビジネスシートと1等席には、飲み物とおやつがサービスとして配られます（ちょっとうれしい！）。

2等席は、手軽に利用できる料金に設定されています。そのため、満席のことが多いようです。中国の人たちは、とにかく荷物が多い！みんなスーツケースをゴロゴロ転がしながら乗車してくるので、各号車の間には、荷物を置けるスペースも設置されています。日本の新幹線とは少し異なるところですね。

もちろん、車内販売もあります。日本と同じようにカートに飲み物やお菓子、お弁当やアイスクリーム、おもちゃなどをのせて販売しています。定期的にごみの回収にも来てくれるので、とても快適に過ごせます。



改札を通して、いよいよ乗車です。日本の新幹線と形もよく似ています。きれいでカッコいい！

【空港からはリニアモーターカーであっという間に市内へ！】

上海には虹橋（ホンチャオ）空港と浦東（プートン）空港という2つの空港があります。国際線が多く発着する浦東空港は上海郊外にあり、タクシーで1時間、地下鉄などの公共交通機関を使うと2時間くらいかかる場所にあります。ちなみに、上海日本人学校や私の家は虹橋空港のすぐ近くで、グラウンドやベランダからは飛び立っていく飛行機がよく見えます。

ただいまの时速 301 km !



上海郊外にある浦東空港と市の中心部を結ぶのがリニアモーターカーです。リニアモーターカーを中国語で書くと「磁浮」。なんとなく、分かりますよね。空港から市内まで地下鉄で1時間ほどの距離がリニアモーターカーでは約10分！あっという間です。私が乗ったときの最高时速は301 km。430 kmまで出るそうです。大きく揺れることもなく、乗り心地もよいです。お値段は片道50元（約800円）。地下鉄は8元（約130円）ですので、ちょっとお高いのですが、初めて乗ったリニアモーターカーはワクワクしましたよ！

【地下鉄は17号線まで】

上海市内は、地下鉄で結ばれています。路線は全部で18！この地下鉄に乗れば、上海市内のどこにでも行くことができます。地下鉄の中はとても明るく清潔です。また、遅れることもほとんどありません。ホームには、転落防止用の自動ドアがどの駅にも設置されていたり、次の電車が何分後に来るのかをモニター表示したりと、日本の地下鉄よりも便利なシステムが整っています。初乗りは2元（約32円）。距離によって料金は変わりますが、上海市内は一番遠くても8元（約130円）程度で行くことができます。

【バスに乗ってどこまでも】

バスの前に書いてある番号を見て乗車します。これはよく乗る71路線。

地下鉄が発達するまで、上海市民の足はバスでした。もちろん、今も健在！950路線ほどあるといわれています。バスが通らない道がないほど、バス路線が張り巡らされています。料金は2元。遠くまで行く路線は、距離で料金が決まります。上海の道路は自動車が多く、いつも渋滞しているので、時間が読めない、というデメリットはありますが、上海の街を見ながらバスに乗るのは、新しい発見があってとても楽しいので、私は地下鉄よりもバスを利用することが断然多いです。地下鉄もバスも共通に使える交通カード（日本のSuicaのようなもの）をかざせば料金を払うことができるので、とても便利です。また、上海は、どんな細い道でも、全ての道に名前がついています。バス停の名前は下車をする道路の名前が駅名になることが多く、漢字を知っている日本人の私たちにとってはとても分かりやすく、利用しやすい乗り物です。



【ぜひ日本にも！レンタル自転車】

どの自転車に乗ってもOK！そして、どこで降りてもOK！

上海で生活を初めて4か月ですが、今のところ日本に持って帰りたいものナンバーワンは、レンタル自転車です。自転車大国の中国ですが、上海の人たちも、マイ自転車よりも“モバイク”と呼ばれるレンタル自転車を利用している人が多いように思います。このモバイク、街中に置いてあり、どこで乗っても、どこで降りてもOK！料金は15分1.5元（約25円）という手軽さです。15分以上乗った場合は、時間により課金されるシステムです。



上海の街は、プラタナス並木がとても美しく、真夏でも日陰を作ってくれるので、とても気持ちがいいですよ。日本よりも便利かもしれない上海の乗り物情報をお届けしました。それでは再見（ツァイチェン）！